

# 愛媛県シニア向けツアーニーズ調査結果（概要版）

## 1 調査目的

ねんりんピックを契機としたシニア層の社会参加と誘客促進を図るため、シニア層旅行者、旅行会社、宿泊施設を対象に、シニア層の旅行に関するニーズや現状に関する調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおり。

## 2 調査対象者

### （1）シニア層旅行者

- ①調査対象：国内在住の65歳以上の男女
- ②調査期間：令和4年7月26日～27日
- ③調査方法：WEBモニター調査
- ④回収数：1,145件（うち65～74歳：566件、75歳以上：577件、未回答2件）

### （2）県内旅行会社・県内宿泊施設

- ①調査対象：ア 県内に事業所を有する第1～3種、地域限定旅行業許可取得事業者  
イ 愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合加盟施設
- ②調査期間：令和4年8月19日～9月5日
- ③調査方法：郵送・WEBフォーム回答
- ④回収数：ア 26件（回収率27.7%） イ 47件（回収率20.9%）

## 3 調査結果概要

### （1）シニア層旅行者

- シニア層のうち84.0%が観光旅行に興味を有しており、特に後期高齢者（87.2%）の方が前期高齢者（80.8%）より旅行に興味を有する傾向にある。
- 旅行への同行者としては夫婦が最も高く（56.1%）、次いで家族（15.2%）、一人（13.5%）となっている。
- 旅行に当たって気になる点としては、宿泊施設の快適さ（45.8%）、費用（43.5%）、余裕のある行程（40.9%）となっており、後期高齢者は前期高齢者に比べると、特に歩行距離や余裕のある行程、坂や段差の多さなどを気にする傾向にある。
- 観光スタイルとしては、温泉地（72.6%）や乗物（遊覧船、観光列車、ドライブ等）などからの風景を楽しむこと（58.5%）に興味がある一方、アクティビティ・レジャー（3.7%）、イベントなど（2.4%）にはあまり興味を有さない傾向にある。
- 行程としては2泊3日（51.8%）の需要が多く、次いで1泊2日（22.1%）、3泊4日（14.8%）となっており、日帰り（5.9%）や4泊以上（5.5%）は需要が少ない。
- 観光中は余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい（55.5%）との意向が強い。
- 交通手段としては鉄道（63.1%）、自家用車（39.0%）、航空機（36.2%）となっており、複数の公共交通手段を組み合わせた移動や、自家用車でのドア to ドアの移動が必要がある一方、団体ツアーバスは前期高齢者（20.3%）と比べて、後期高齢者（32.9%）に需要がある。

- シニア層向けの旅行商品については、利用したい・どちらかというとうり利用したいと答えた方が75.0%となっており、特に後期高齢者に絞ると81.1%の利用希望がある。
- 観光地で困ったこととしては、混雑(21.8%)や移動距離の長さ・詰まった行程(21.2%)などがあげられ、後期高齢者は観光地や宿泊施設への移動手段の不便さをあげている。
- 愛媛県で食してみたいものとしては、鯛めし、焼き豚卵子飯等の郷土料理(56.4%)や魚介類(55.3%)、かんきつ類(39.7%)と回答した方が多い。
- 旅行先の情報収集手段としては、旅行サイト(63.4%)、ガイドブックや雑誌(37.8%)、パンフレット(36.1%)となっており、多くの方がWEBを活用している。
- 旅行の目的としては、ストレス発散や気分転換(51.2%)、次いで癒し(50.8%)、非日常感(47.4%)となっている。また、後期高齢者では健康増進を目的とする方が前期高齢者に比べて10ポイント以上高い結果となっている。
- 観光消費額(現地交通宿泊費、観光費、飲食代)としては、全体では2~5万円が多く(40.4%)、日帰りを希望する旅行者では5千~1万円が多くなっている(31.3%)。
- 旅行に関するWEBの活用状況としては、自身でWEB旅行申込を行っている方が55.6%、観光サイトなどで情報収集している方が23.1%となっている一方、WEBは利用していない方が23.1%となっており、シニア層でもWEBを有効活用して旅行を行っている。

## (2) 県内旅行会社

- シニア層に特化した旅行商品を提供している割合は34.6%となっており、提供していない理由としては、スタッフ不足(29.4%)、需要が少ない(23.5%)などがあげられる一方、特に理由はない(41.2%)との回答も多い。
- シニア層に配慮した旅行商品を検討するに当たって配慮が必要なこととしては、ゆとりのある行程(80.8%)、歩行距離の短さ(65.4%)、トイレ休憩(61.5%)、食事内容の配慮(57.7%)などがあげられる。
- アクティブシニア層向けの旅行商品については需要が見込まれる(88.5%)との意見が多い一方、要介護者等に特化した商品については需要が見込めない(57.7%)との意見が多い。
- 要介護者向け商品の需要が少ない理由としては、受入側の環境が整っていない(46.7%)、対象が限定的すぎる(40.0%)ことがあげられる一方、需要があると回答した会社からは対象者が増加している(54.5%)などの意見もある。
- シニア層に特化した旅行商品を造成するために必要な情報としては、ターゲット層の具体的なニーズ(69.2%)や観光地・宿泊地の対応状況(57.7%)があげられる。
- シニア層に特化した旅行商品の造成については、取り組みたいとの意見が80.8%となっており、旅行会社としての取組意欲は高い一方、課題としてスタッフの知識不足(46.2%)、受け地との調整(42.3%)、観光地や交通機関の情報収集(34.6%)などがあげられる。
- シニア層を対象とした旅行商品を検討する際に重視する点としては温泉など(76.9%)、徒歩による自然散策(73.1%)、歴史・文化施設(69.2%)などがあげられる一方、アクティビティ(19.2%)は重視されない傾向にある。

### (3) 県内宿泊施設

- 宿泊客のうち、シニア層の割合はおおむね3割未満(66.0%)となっている。
- 介護が必要なシニア層宿泊客は年間数件程度(57.4%)が多く、現状は少ない状況。
- バリアフリー設備については、エレベータ(51.1%)や階段手すり(46.8%)などは比較的整備している施設が多い一方、その他の設備(バリアフリートイレ、優先駐車場、スロープ他)については整備率が4割に満たない状況。
- 整備が進んでいない理由としては、改修費が高額であること(61.7%)、必要な客層が少ない(40.4%)などがあげられる。
- シニア層を対象としたサービスとしては、食事内容の変更やテーブル席への変更、車いす等の貸出を行っている施設もあるが、特段対応しているサービスなどはない(46.8%)との回答が多い。
- シニア層が宿泊する際、施設側で配慮していることとしてはテーブル席の用意(31.9%)、アクセスしやすい客室の提供(27.7%)、ベッド客室の用意(25.5%)などを行っている施設もあるが、特別な配慮は行っていない(42.6%)と回答した施設も多い。
- シニア層からの要望としては、食事内容の変更(23.4%)、ベッド客室の利用(23.4%)、タクシー等の手配(21.3%)などがあげられるが、特段要望はない(42.6%)と回答した施設も多い。
- シニア層が宿泊する際の課題としてはバリアフリー改修(53.2%)と回答した施設が多いが、改修費用が大きな課題となっている。
- シニア層が不安なく泊まれるような施設整備・サービス向上への取組については、取り組みたいとの意見が83.0%となっている。

## 4 ねんりんピックえひめ大会参加予定者への観光アンケート

### (1) 調査方法

令和4年6月に、全国都道府県・政令指定都市及び選手派遣団体を対象に実施した来県意向調査に合わせて、えひめ大会参加予定者を対象とした観光アンケートを実施した。

### (2) 調査結果(回収数:124件)

- えひめ大会での観光予定について、参加者の68%が観光を予定している。
- 観光する場合の手法について、独自観光を希望する方が62%となっている一方、事前申込のオプションツアーの参加希望者については18%にとどまっている。
- ツアー以外を希望する場合の移動手段については、公共交通機関が43%、レンタカーが31%、貸切タクシーが13%となっている。
- 観光日程としては、競技後が65%と高い一方、後泊・前泊は11%にとどまっている。
- 観光時間としては、半日程度が38%、2、3時間が23%、1日が21%となっている一方、1泊以上で見ると1泊2日は15%、2泊以上は2%となっている。
- 希望料金帯は1万円以下が63%、2万円以上は6%となっている。
- 旅行予定人数は1~5人が68%、6~9人が21%、10人以上11%となっている。
- 興味のある旅行ジャンルは文化・歴史63%、温泉52%、自然51%となっている。
- 愛媛県で行ってみたいところは道後温泉55%、松山城44%、しまなみ海道35%となっている。
- 愛媛県で体験したいこととしては温泉入浴54%、ガイド付き町歩き24%、酒蔵見学23%となっているほか、観光列車(19%)や潮流体験(18%)にも一定の人気がある。